

社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動をご紹介します。

近畿ろうきんは、社会貢献預金(笑顔プラス)の取組みを通して、被災地支援や障がい者支援、子育て支援、女性・マイノリティ支援、環境保全、国際協力などの活動を行う、NPO・市民団体を応援しています。

NPO法人 日常生活支援ネットワーク(大阪地区)
《障がい者生活支援》

理事長 柿久保 浩次



日常生活支援ネットワークは、どんな障がいがある人でも地域で暮らし、行きたい時にいつでもどこへでも出かけ、自分らしい生活をしていきたい人たちと関わってみたい人たちが一緒に仕組みをつくっていきこうと1996年より活動を始めました。私たちは障がい者の生活と支援を持続あるものとするため、いろいろな人たちが往来する機会づくりをテーマに活動してきました。

私たちの取組みが大きく動いたのが東日本大震災。阪神淡路大震災からゆるやかに繋がっていた関西一円の障がい者団体による被災障がい者救援活動があります。この流れから関西と東北の被災地、障がい者と支援者、現地に行けた人と行けないが思いを馳せた人、それぞれの立場を越えて双方向に出会える機会として「東北⇄関西⇄九州ポジティブ生活文化交流祭」を開催しています。新型コロナウイルス



ルスの感染拡大を受け、昨年度はオンラインで行ないました。今年度は、状況が好転すれば、少しでも対面で顔を合わせることができればと思っています。

NPO法人 関西NGO協議会(近畿共通)
《国際協力》

代表理事 三輪 敦子



関西NGO協議会は、平和で持続可能な社会、SDGsの達成にむけて一つのNGOではできないことを、多くのNGOや市民と一緒に協力しながら活動を創りだしていく国際協力ネットワークNGOです。

具体的には、日本全国のNGOと協力しながら、政府とNGOの対話の場をつくっています。ODA(政府開発援助)の透明性・説明責任・国際協力の質の向上を図る提言は大切な活動の一つです。また、市民の意思を反映しながらSDGsを自分事としてとらえる「市民アジェンダの策定」や、元気な高校生たちと一緒に創ってきた「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」の事業は8年間で延べ3万人が参加し、NGOをはじめ、あらゆる世代・セクターとの連携を育んできました。とくに、若い世代の意味のある社会参画の機会、プレゼンスの



向上はSDGsを達成するうえで大切な活動です。機会があれば、こうした活動にもぜひ参加してみてください。お待ちしております。



社会貢献預金(笑顔プラス)は、「預金者の寄付負担(金利引下げ分の利息相当額)」と「ろうきんの拠出金」の合計額を地域のNPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。
※商品の詳細は、当金庫ホームページをご覧ください。また店頭の商品説明書をご用意しています。

近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinkirokin/>



近畿ろうきんFacebookページでは、社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動状況などを随時公開しています。